

第6回 SaMD産学官連携フォーラム

事前登録制・参加費無料

近年、AI・IoT技術等の発展を受けて様々な新しいプログラムが開発され、従来の薬の服用による治療だけでなく、患者自身が直接操作して治療等をサポートする医療機器プログラム(SaMD; Software as a Medical Device)が登場し始めており、疾病の診断や治療を目的として世界的な産業へと発展しつつあり、本邦だけでなく世界的にも注目・期待されています。

本邦におけるSaMDの更なる開発・利用促進を図るべく、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(以下「AMED」)で取り組んでいる事業の成果を産業界及びアカデミアに広く周知すると共に、研究開発段階や実用化段階に潜む課題やニーズを産官学を通じて抽出し、課題解決に向けた議論が求められています。これらを行う場として、経済産業省、厚生労働省、AMEDの主催によるフォーラムを開催します。

<第6回SaMD産学官連携フォーラムのテーマ>

【第一部: SaMDスタートアップの成長加速に向けた資本戦略とエコシステム形成】

近年、SaMD分野では、スタートアップの創出が進む一方で、事業化や成長に向けては規制対応や保険制度への適合のためのエビデンス構築等の研究開発が必要であり、その資金の調達が課題となっています。

今回、ベンチャーキャピタル(VC)の視点から、SaMDにおける投資判断の考え方や投資環境の現状について共有するとともに、スタートアップの成長を後押しするための支援のあり方等について議論します。

【第二部: 省力化・均てん化に資するSaMDの研究開発・普及の促進に向けて】

SaMDは、医療の効率化や医療従事者の負担軽減に加え、診断・治療の標準化を通じて医療の質のばらつきの是正につながるものとして、社会実装が進みつつあります。一方、医療現場への導入やエビデンスの構築、得られたエビデンスの評価の検討等の課題も残されています。今回、企業の取組を踏まえつつ、こうした課題と対応を共有し、今後の社会実装の方向性について議論します。

令和8年

9/16 水

13時00分～18時00分
(開場12時30分)

虎ノ門ヒルズフォーラム

東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー5階

開催方法

ハイブリッド開催
(会場／オンライン)

定員

会場 500名

オンライン 1,500名

受付期間

令和8年9月9日(水)まで

※会場・オンラインとも定員になり次第終了します。

お申込>>

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)のHPから

<https://k3rws.stage.ac/samd-forum2026/>



- 主催 経済産業省、厚生労働省、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
- 後援 国立医薬品食品衛生研究所、医療機器フォーラム、日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会